

	<p>☆ 挨拶・笑顔 輝く未来の ☆</p> <p>出 雲 中</p> <p>https://www.ota-school.ed.jp/izumo-js/</p>	<p>令和 7年 1月11 日 大田区立出雲中学校 学校だより 第9号</p> 
---	---	---

「戦後80年の年にあたって 尊重の大切さ」～3学期始業式講話より～

校長 菅原 千保子

新しい年が始まりました。皆さんの元気な顔を見ることができてほっとしています。急に寒いので、体調を崩さないようにしていきましょう。

さて、冬休みはどのように過ごしましたか？私は元旦のルーティーンがあります。それは、全国で販売されている6社の新聞を買いに行き、じっくりと時間をかけて社説を読むことです。

最近ネットニュースもスマートフォンで気軽に見ることができるので、あまり家庭で紙の新聞を見ることがない人も多いかと思います。数年前に先輩の先生から勧められてから、毎年実行しています。各社それぞれが1年のスタートに当たり、この1年の展望について思いを込めて発信しているの、なかなか読み応えがあります。

実は、本校の学校図書館にも新聞ラックが置かれ、6紙を同時に比較・閲覧できるコーナーができましたので、機会があったらぜひ見てみてください。同じ記事でも、それぞれが違う視点で伝えていることに気付くと思います。

今年は6社すべての新聞で「戦後80年」と述べていました。広島と長崎に原爆が落とされてから80年の年ということです。しかし、残念ながら世界では今もなお、どこかで戦争や紛争がおこっていることは知っていると思います。なぜでしょうか。

きっと始まりはささいなこと。例えば宗教や経済、移民や領土の問題だと思います。しかし、国同士で意見が食い違った時に、暴力を行使し、それが拡大して戦争になっていくのです。

11月から3年生と面接練習をしています。その中で私は「あなたは将来、国や社会を変えることができると思いますか？」という質問をしています。初めは「いいえ、自分の力では無理だと思います。」とか「私は国会議員ではないので、そんな力はありません。」と答える人も少なくありませんでした。

でも、「私1人の力では無理かもしれないけれど、まず自分ができるところから少しずつ変えていきたいと思います。」とか「18歳になったら選挙権が与えられるので、自分の考えに近い人に一票を投じることから始めます。」と言える人が増えてきて、頼もしく思います。

「自分と他人は意見が違って当たり前なんだ」ということが理解できていけば、感情的にならずに自分も OK、相手も OK になるように徹底的に対話をすることができるはず。そのことが、個人から国を動かし、戦争を未然に防ぐことにつながるのだと思います。

まさに本校の目指す生徒像「自律・尊重・創造」の中の「尊重」ですね。このことを心に留めて、3学期は、皆さんの学校生活の中で少しでもトラブルを避け、すべての人にとって、出雲中が安心・安全な場所になってほしいと願っています。

さて、今日から早速文化祭展示の部の準備も始まります。ぜひ1日1日を大切に、なりたい自分になるために「変わる」努力をしていきましょう。皆さんの成長を楽しみにしています。

特に3年生。卒業までの残りの学校生活を、ぜひ充実したものにしてください。応援しています。

12月6日、全国納税著知己組合連合会及び国税庁が主催する「税の作文表彰式」において、本校3学年の生徒が「東京商工会議所大田支部会長賞」を受賞しました！おめでとうございます。当日は蒲田税務署長をはじめ、たくさんの方に見守られながら学校の代表として堂々と表彰式に参加していました。ここに作文をご紹介します。

「税金の大切さ」

3学年生徒

みなさんは税と聞いてどんな印象を持つでしょうか？私はあまり良い印象を持っていませんでした。理由は、テレビやスマートフォンなどで、税に対する明るい報道を見たことがないからです。そこで実際に税とはどういうものなのかをいくつか調べてみました。

1つ目は、税金は何に使っているのかを調べてみました。私たちの身近なものでいうと学校の机やイス、校舎、教科書など、勉強をするのに欠かせないものに使われていることがわかりました。それから、私たちがかぜを引いたとき、病院の診察料や薬などにも使われているそうです。また、道路や住宅などを整備する公共事業や国の防衛などにも使われているそうです。これらの中で一番税金を使っているのは、健康や生活を守る社会保障です。このことから、税金は私たちにとってとても大切なものであるとわかりました。また、国民がとても大切にされていることがわかりました。



2つ目は、税金がなくなったらどうなるのかをまずは自分が考えてみました。私は、税金がなくなったら、学費が高くなり学校に行ける子供が少なくなったり、病院に行く人が少なくなり大きな病気の発見が遅くなり、亡くなってしまふ人が増えたりすると思いました。また、自分が年老いた時に暮らせなくなってしまうと思いました。次にネットで調べてみました。もし税金がなくなったら、道路や橋などは、毎日人や車などが行き来したり、また風雨にさらされることで傷んでいたり、犯罪などを取り締まる警察官がいなくなる、子供たちが安心して学べる環境を整えるための費用を賄うことができなくなるなどのことがわかりました。私は、税金がなくなったら、警察官がいなくなってしまうということにとっても驚きました。また、税金は国民を守るために必要不可欠なものであることがわかりました。

3つ目は、消費税について調べてみました。消費税とは、商品の販売やサービスの提供などの取引に対して課せられる租税です。だから、中学生でも払うことができる税です。一世帯当たりの年間消費税額は平均、16万6672円だそうです。消費税の年間総額は、21兆円となっていて、令和元年より増加しています。そして、その集まったお金は年金・医療費・介護・少子化対策に使われるそうです。また、消費税の目的は税体系全体を通ずる税負担の公平を図るとともに、国民福祉の充実等に必要な歳入構造の安定化に資するためだそうです。



私は、税金について調べて税金の重要さを知ることができました。また、税金の使い方を決める人は国民が選んだ国会議員や市区町村、都道府県の地方議会議員を通じて決めることを知りました。なので、自分で国をどのようにしたいのかを考え、積極的に選挙に参加することが必要だと思いました。

素敵な「絵」のプレゼントが
学校に届きました！



こちらの絵を見てください。何を描いた絵かわかりますか？答えは「多摩川清掃」です。

実はこの絵の作者は、今から7年前に本校で美術を教えていた先生です。大田区制70周年の記念として、当時の大田区の中学校美術科の先生全員が、それぞれの地域を題材にした作品を制作し、区役所の一階に展示したものだそうです。

展示終了後、他の学校で保管されていましたが、この度、建て替えのため、作者から学校に寄贈していただきました。この絵を見ていると、生徒の楽しそうな笑い声や話し声が聞こえてくるような温かいきもちになります。先日作者の先生と電話で直接お礼を伝えることができました。今でも生徒会主催の多摩川清掃が続いていること、出雲中の生徒たちが地域の中で活躍していること等をお伝えしました。

作者の先生もとても喜んでくださって、「伝統が引き継がれていてうれしいです。これからも地域を大切にしていってください。」とおっしゃっていました。

12月24日の多摩川清掃では、生徒会の呼びかけにより約40名の参加がありました。。寒い中、たくさんのごみを拾いながらボランティア活動をしている姿は、きっと地域や保護者の皆さんも出雲中生のがんばりをどこかで見ていてくださるかもしれません。

この絵を通じて昔の卒業生や先生方とつながれた奇跡を大切にしていきたいですね。早速第一体育館棟1階の廊下に飾りましたので、ぜひじっくり鑑賞してください。

<1月の行事予定>

日	曜	行 事 予 定
1	水	元日
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	冬季休業日終
8	水	始業式
9	木	学校公開日開始 文化祭展示発表見学(生徒) ★
10	金	文化祭展示発表見学(小学生 保護者)◆★
11	土	学校公開週間終 文化祭展示発表見学(保護者)
12	日	
13	月	成人の日
14	火	朝礼・安全指導、職員会議、⑥カット★
15	水	小中一貫教育の日(都南小)、④カット◆
16	木	避難訓練(地震)、 各種委員会、中央委員会 ★
17	金	助産師講演会(⑤1年、⑥2年) 英語検定 ★
18	土	ものづくりフォーラム
19	日	
20	月	生徒会朝礼、職員会議 ⑤カット
21	火	私立推薦入試前日指導(3年) ★
22	水	私立推薦入試(3年⑤カット) ◆
23	木	オーケストラ鑑賞教室(2年)午前 ★
24	金	都立推薦入試事前指導(3年) ★
25	土	
26	日	都立推薦入試
27	月	都立推薦入試、職員会議 ④カット
28	火	★
29	水	区教研(教科)、⑤カット
30	木	区教研(特設)、席書会、 都立推薦発表事前指導(3年) ♡★
31	金	都立推薦入試発表(3年⑤⑥カット)♡★

★スクールカウンセラーの来校日
◆ウィークリーサポート学習会
♡スマイルサポート土曜学習・英検・漢検学習会

★ 生徒の活躍 ★

部活動表彰

バレーボール部

秋季区民大会

優勝 出雲 A

がんばろう江東カップ

優勝

クリスマスカップ

3位

文化祭展示部門 準備の様子



裏側を少しだけ
ご紹介!
展示見学の様子
はHP等で!

